

「大学コンソーシアム佐賀」 共通教養教育科目シラバス

開講年度	平成 23 年度	開講時期	前学期	後学期										
科目名	人間論と現代思想													
担当教員 (所属)	井本浩之													
単位数	2													
曜日・校時	月曜日 4 時限 14:40~16:10													
曜日・校時 追記 (授業形態)	(対面授業)													
講義概要 (開講意図・到達目標を含む)	<p>この講義では、「人間とはなにか」という根本的な問題を西洋近現代の思想を通して探る。人間の尊厳や自立といった論点を理解するには根本的な人間理解が必要である。まずデカルトの「意識存在としての私(コギト)」と「機械としての身体」の理解を通して、科学が前提としている西洋近代の「心身二元論」の理解をはかる。ついで、その難点を紹介し、心身二元論的な人間理解の限界を明らかにする。最後に統一的な人間像を把握する試みとして「身体としての私」(心身一元論)という人間理解に進み、それが意味する諸帰結を考察する。その帰結のうちには、介護や看護といった他者の身体への接触を行うことの意味も含まれる。それら職における人間の尊厳の保持・自立支援等の意味についても考察したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デカルトのコギトについて説明ができる。</li> <li>・デカルト的心身二元論(実体二元論)について説明ができる。</li> <li>・二元論的心身論の難点について説明ができる。</li> <li>・二元論的人間理解の諸帰結について説明ができる。</li> <li>・統一的な人間像について説明ができる。</li> </ul>													
聴講指定	特になし													
履修上の注意	毎回授業開始時にエンカウンター時間を設けます。双方向的な授業を実施します。													
授業計画	<p>第 1 週 1. 答えの出ない問題について (コミュニケーション演習)</p> <p>第 2 週 2. こころは何処にあるの?</p> <p>第 3 週 3. 機械の中の幽霊</p> <p>第 4 週 4. 「こころ」と「脳」は同一か?</p> <p>第 5 週 5. デカルトのコギト (方法的懐疑)</p> <p>第 6 週 6. デカルトのコギト (疑えない知識)</p> <p>第 7 週 7. デカルトのコギト (独我論的世界)</p> <p>第 8 週 8. デカルトの実体二元論</p> <p>第 9 週 9. デカルトの心身論の難点</p> <p>第 10 週 10. 「こころ」と「からだ」</p> <p>第 11 週 11. 身体としての私</p> <p>第 12 週 12. 科学と形而上学</p> <p>第 13 週 13. 人間理解と倫理</p> <p>第 14 週 14. 講義の復習とまとめ</p> <p>第 15 週 15. まとめ (試験を含む)</p>													
成績評価の方法と基準	(試験やレポートの評価基準など) 筆記試験。試験及び出席点により評価。													
教科書	<p>使用しない。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年										
参考図書	<p>参考図書については授業時に指示します。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資料名</th> <th>著者名</th> <th>発行所名 ・発行者名</th> <th>ISBN・ISSN</th> <th>出版年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年					
資料名	著者名	発行所名 ・発行者名	ISBN・ISSN	出版年										
リンク	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>U R L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table>				名 称	U R L								
名 称	U R L													
オフィスアワー														
その他	<p>パワーポイントを用いた講義により行う。教材となる DVD 鑑賞を行う。ノートを用いて授業を再現できるよう努めてください。</p>													